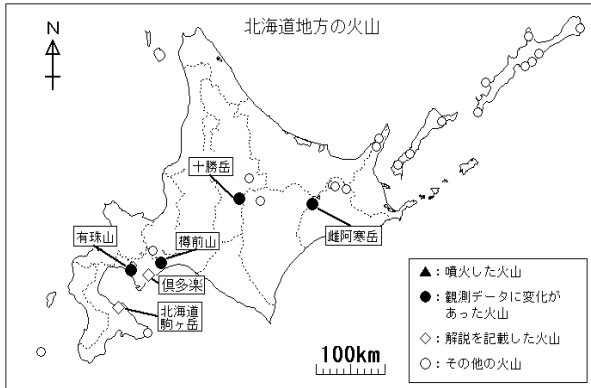


# 北海道地方の火山活動解説資料（平成 14 年の活動）

札幌管区気象台 火山監視・情報センター



| 解説を記載した火山名 | 平成14年（2002年） |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |
|------------|--------------|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
|            | 1月           | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| 雌阿寒岳       | ●            |    | ●  |    |    |    |    |    |    |     |     |     |
| 十勝岳        | ●            |    | ●  |    | ●  |    |    |    |    | ●   |     |     |
| 樽前山        |              |    |    | ●  | ●  |    |    |    |    |     |     |     |
| 倶多楽        |              |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |
| 有珠山        | ●            |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |
| 北海道駒ヶ岳     |              |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |

火山活動解説資料（年報）は、年間の活火山の活動状況を取りまとめたものです。北海道地方の火山について、札幌管区気象台が作成し、毎年1月上旬に公表します。

## 平成 14 年の活動概況

**雌阿寒岳** : 3月下旬に火山性微動が発生し、その直後から火山性地震が一時的に増加しましたが、噴煙活動や地殻変動に特段の変化はありませんでした。ポンマチネシリ 96-1 火口の熱活動は 2000 年以降低下する傾向が認められます。

なお、1月に徹別岳（てしべつだけ：雌阿寒岳の南約 7km）周辺を震源とする地震が増加し、阿寒町の上徹別などで最大震度 2 程度の揺れを感じました。徹別岳周辺では 10 月にも地震活動が活発化しましたが、これらの地震活動は雌阿寒岳の火山活動には直接影響しないと考えています。

**十勝岳** : 1月、3月、5月、および9月に小さな火山性微動が発生しました。62-2 火口は高温で活発な噴煙活動が続くなど火山活動は高いレベルを維持しています。

**樽前山** : 4月下旬にドーム南西（B）噴気孔群の噴気活動が活発化し、温度も上昇しました。またA火口では引き続き高温の状態を維持しています。1996年以降地震活動が活発化しており、ドーム周辺では熱的活動が活発な状態となっていることから、火山活動の推移に注意が必要です。

**倶多楽** : 火山活動に特別な変化はありませんでした。

**有珠山** : 金比羅山（K）火口群および西山西麓（N）火口群で継続していた噴気・地熱活動は次第に衰退し、西山西麓を中心とした地殻変動（わずかな収縮）も小さくなりました。

**北海道駒ヶ岳** : 地震増加や火山性微動はなく静穏に経過しました。噴煙活動も弱く地殻変動にも特別な変化は認められません。しかし、2月以降山体のやや深いところを震源とする地震が時々発生していることから、火山活動の推移を注目する必要があります。